

Anews に待望の「社内情報検索機能」がリリース決定！ ニュースや特許論文などの外部情報と社内情報の横断検索・要約生成が可能に ～2024年4月11日(木)16:00よりセミナーも実施～

ストックマーク株式会社(本社：東京都港区、社長：林 達、以下：ストックマーク)は、業務に必要な情報を推薦し、組織の”情報収集課題”を解決する「Anews」にて、調査レポートや技術報告書、実験データなど、適切な管理が困難で埋もれがちな社内情報の検索・要約生成が可能な「社内情報検索機能」*1を本年5月にリリースすることが決定しました。

また、リリースに伴い、3月27日(水)より、10社限定で当機能に関する先行検証の受付を開始いたします。

※1：社内情報検索機能をご利用いただくには Anews 内のオプション機能への加入が必要となります。

◆開発の背景

Anews は、これまで国内外約 35,000 のビジネス情報サイトや、800 以上の学術雑誌、プレプリントサーバーの論文・特許などの膨大な外部情報から、組織や業務に合わせて必要な情報をお届けしておりました。

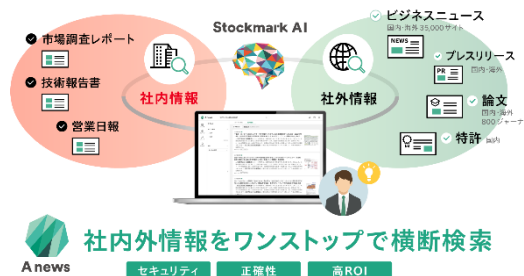
しかしながら、技術の発展や顧客ニーズの変化が著しい現在において、組織が更なるイノベーションを創造するためには、外部情報だけでなく、組織がこれまで蓄積した内部情報の活用が求められています。

当機能により、社内外情報の横断的な検索と、検索結果の要約生成が可能となり、埋もれがちな社内の知見と市場を紐づけた新たな発見を生み出すことが可能になります。

◆「社内情報検索機能」の詳細と特徴

当機能は、これまでの調査レポートや技術報告書、実験データなど、組織に眠る様々な情報を、ビジネスニュースや論文・特許などの外部情報と同時に検索できる機能です。

これにより、ユーザーは社内外の情報を横断的に検索することが出来るようになる他、ストックマークの AI 技術を用いることで「検索結果の全体像が一目で分かる要約生成」や、「ファイル内全文を対象に、検索意図に沿った該当箇所のピンポイント表示」が可能になります。



【特徴①】自社データを安心して扱うことが出来る万全なセキュリティ

組織における AI 技術の導入が促進しない理由として挙げられるのが“セキュリティ”です。組織内部の情報を外部サービスに入力することによる、情報漏洩の懸念は多くの組織が感じています。

当機能では、組織毎に個別のデータ環境を発行することで情報漏洩を未然に防ぐだけでなく、ストックマーク独自の純国産大規模言語モデル(Large Language Model、以下：LLM)をベースに入力データや生成 AI の運用をおこなうことで、情報漏洩を回避します。

【特徴②】ビジネス分野・技術情報に特化した正確性の高い AI 技術

ストックマークの独自 LLM は、公開済みの基盤モデルに多く見られる外国語ベースの LLM ではなく、芸能ニュースなどのエンターテインメント系の情報を排除し、市場情報や技術情報などのビジネス情報に関するテキストデータを収集することで、質の高い日本語データとビジネスデータを元に開発した独自 LLM のため、ハルシネーション*2を大幅に抑止し、ビジネスシーンでも信頼のおける回答を生成することが可能です。

これに加え、従来から Anews で蓄積されている組織内の重要情報を優先的に検索できるため、高い精度で検索することができます。

※2：人工知能が学習したデータからは正当化できないはずの回答を堂々とする現象

【特徴③】導入運用にかかるコスト削減で業務適用までのハードル低減

組織における AI 技術の活用には、導入目的にあわせた LLM への追加学習や、定期的なモデル評価、各業務に合わせたアプリケーション開発など、導入・運用におけるリソース確保や、高額なコストなど、高いハードルが存在します。

しかし、ストックマークでは、クラウドサービス型かつサブスクリプション形式で提供しており、必要な追加学習や機能開発を既実装した上でお客様にご利用いただくことが可能な上、部門単位からの導入も可能です。

◆オンラインセミナー開催決定

Anews の「社内情報検索機能」リリースを記念して、無料オンラインセミナーを開催いたします。機能の詳細に加えて、実際のデモ画面もご紹介いたしますので、ぜひご参加ください。



【セミナー概要】

- ・タイトル：社内外の情報が AI でつながる - スtockマーク AI が切り拓くシームレスな情報収集
- ・開催日時：2024 年 4 月 11 日(木) 16:00-16:45
- ・費用：無料
- ・申し込み：<https://stockmark.co.jp/event/20240411>

◆「社内情報検索機能」先行検証について

本機能は 2024 年 5 月のリリースを予定していますが、まず 10 社限定で先行検証を行う予定であり、本日より先行検証の受付を開始いたします。

先行検証をご希望のお客様は本プレスリリース最下部にございますお問合せ先よりお問合せください。

◆ストックマーク株式会社について

ストックマーク株式会社は「価値創造の仕組みを再発明し、人類を前進させる」をミッションに掲げ、最先端の自然言語処理技術を活用し、多くの企業の事業創造活動を支援しています。

当社は自然言語処理技術を活用し、国内外の約 35,000 サイトのビジネスニュースを分類しています。業務に直結する情報を AI が届けることにより、組織の情報感度を高め、事業アイデアの着想と組織内での発展を促す「Anews(エーニュース)」、AI が組織や業務に合わせて必要な情報を構造化し、示唆が得られる市場調査サービス「Astrategy(エーストラテジー)」を通じて企業の新たな価値創造をサポートします。

会社名：ストックマーク株式会社

所在地：東京都港区南青山一丁目 12 番 3 号 LIFORK MINAMI AOYAMA S209

設立：2016 年 11 月 15 日

代表者：代表取締役 CEO 林 達

事業内容：自然言語処理を活用した、事業機会の探索と意思決定の支援を行うサービスの開発・運営

URL：<https://stockmark.co.jp/>

【社内情報検索機能の先行検証に関するお問合せ・ご相談】

ストックマーク株式会社 担当：福島（フクシマ）

MAIL：inside@stockmark.co.jp

【本件に関する報道関係者のお問合せ】

ストックマーク株式会社 担当：畑中、田中（ハタナカ、タナカ）

MAIL：pr_stockmark@stockmark.co.jp